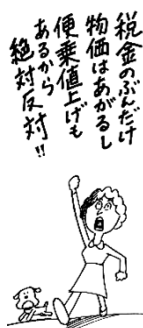


# 自治体から見た消費税

## 社会保障と地方自治と生活を壊しています

- I 負担割合を高額所得者は少なく低所得者は多くします
- II 徹底した独占企業優遇のための税制度です
- III 消費税は自治体の自主性を壊しています
- IV 逆です！社会保障を壊しているのが消費税です
- V 消費税で病床削減と病院統廃合を進めています
- VI 消費税の持つ勤労国民をだます性格や常識に抗して



今の社会では、消費税は「社会保障財源として欠かせない」「世代間でも公平な税制度」といった考え方が“常識”とされています。そして「直接税と間接税の違い」などの混乱の中、そもそも消費税が消費者への負担増であり、追加搾取であることの“本質”が忘れられています。このブックレットでは、私たちの生活と労働、社会保障にとって消費税がどのような役割をしているのかを分かりやすく説明しています。1979年日本社会党機関支局発行『ああ大悪税—マンガ一般消費税物語』の中で危惧されていたことが、45年経った今、まさに現実に起こっています。消費税増率を阻止するだけでなく、消費税ゼロを目指すためにも、自分たちの身近な生活と労働を守るためにも、学習会のパンフレットなどにも、この一冊を広くご活用ください。



頒価 **500円** 送料100円（10冊以上は送料無料）

注文先 ◆ FAX：055-254-4403 ◆メール：yamada@peace.email.ne.jp

発行 **社民党自治体議員団全国会議**（連絡先：山田厚）  
〒400-0024 甲府市北口 3-7-13 TEL：055-254-4402

御名前	社民党	都道府県	連合	担当者氏名：
御住所	〒			
連絡先	電話またはメールアドレス			
注文数	冊	備考欄		

お支払いは後払いです。本と一緒に振込先を連絡させていただきます。